

第 3 号様式

(第 1 面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 656-0046
住 所 兵庫県神戸市中央区港島中町四丁目 1 番 1
氏 名 株式会社ダイエー
代表取締役 近澤 靖英 印
(代理人) 管理本部 関東総務部 部長 福田 啓三
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第 1 0 条第 1 項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	株式会社ダイエー		
主たる事務所 又は事業所の所在地	川崎区白石町 6 番 1 号		
該当する事業者 の要件	☒ 規則第 4 条第 1 号該当事業者		
	☐ 規則第 4 条第 2 号該当事業者		
	☐ 規則第 4 条第 3 号該当事業者		
	☐ 規則第 4 条第 4 号該当事業者		
	☐ 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の種類	大分類	I	卸売業, 小売業
	中分類	56	各種商品小売業
主たる事業 の内容	セルフサービスを主体とする商品の小売業		
事業者の規模	☒ 原油換算エネルギー使用量		5, 127 k l
	☐ 自動車の台数		台
	☐ エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t -CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	管理本部 関東総務部
		所在地	東京都江東区東陽2丁目2番20号
	電話番号		03-6388-7373
	F A X 番号		03-5606-6255
	メールアドレス		

※受付欄		※特記事項	※事業者番号	

(第2面)

計画期間及び報告年度	平成28年度 ～ 平成30年度 (報告年度 平成28年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
- 2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
- 3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
- 4 ※印の欄は記入しないでください。
- 5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況（第1号、第2号、第4号該当者等）

(1) 温室効果ガスの排出の量の状況（排出係数固定）

ア 計画期間の温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
排出量	(実) 10,231 (調) 10,104 t-CO ₂	(実) 10,021 (調) 9,898 t-CO ₂	(実) (調) t-CO ₂	(実) (調) t-CO ₂	(実) 9,889 (調) t-CO ₂
削減率		(実) 2.1 (調) 2.0 %	(実) (調) %	(実) (調) %	(実) 3.3 (調) %

イ 計画期間の温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値

原単位 の 活動量	延床面積×営業時間		単位	千m ² ×千h	
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度の値
排出量 原単位等の値	13.30	13.07			12.90
削減率		1.7 %	%	%	3.0 %

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況についての説明

第1年度	1. 節水装置の導入 2. 照明LEDの追加導入 3. 冷ケース用の夜間ナイトカバーを更新 以上の施策等により基準年度から温室効果ガス排出量は2.1%、原単位は1.7%削減できた。
第2年度	
第3年度	

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況（全社目標）

2016年度電気使用量において2015年度比1.0%削減のISO目標を設定しているが、今年度は0.7%削減した。

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成するための措置の実施状況

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の実施状況

事業所等 (第1号、第2号、第4号該当者等)	計 画	【業務部門】 1. 主要設備等の保安全管理 2. エネルギー使用量等の把握、計測、記録等の管理 3. 空調設備、換気設備の保安全管理 4. 照明設備の管理 5. 省エネルギー機器の導入検討 【産業部門】 1. 主要設備等の保安全管理 2. 設備で用いる蒸気の適切な乾き度の維持 3. 放射、伝熱等による熱の損失の防止 4. 廃熱の改修利用 5. 空調設備、換気設備の保安全管理 6. コンプレッサの吸気管理
	第1年度	【業務部門】 1. 照明LEDの追加導入 2. 節水装置の導入 3. 冷ケースナイトカバー取付 【産業部門】 1. 機械室照明をLEDへ交換 2. 搬出入口のエア流入防止対策
	第2年度	
	第3年度	
自動車等 (第3号該当者等)	計 画	
	第1年度	
	第2年度	
	第3年度	

(2) 再生可能エネルギー源等の利用実績

ア 再生可能エネルギー源等の利用に係る考え方

なし

イ 計画期間の再生可能エネルギー源等の利用実績

[illegible]

ウ 計画期間の再生可能エネルギー源等の価値の保有実績

[illegible]

4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

計 画	なし
第1年度	なし
第2年度	
第3年度	

5 その他地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

計 画			15年度対比		16年度対比	
	1. 電気使用量削減目標	2016年目標	1.0%削減	2017年目標	1.2%削減	
	2. 水使用量削減目標	2016年目標	維持	2017年目標	1.1%削減	
	3. OA用紙使用量削減目標	2016年目標	維持	2017年目標	7.7%削減	
	4. 食品リサイクル率目標	2016年目標	31.8%向上	2017年目標	36.8%向上	
	5. レジ袋削減目標	2016年目標	35.6%向上	2017年目標	36.3%向上	
※2018年目標は未定						
第 1 年度	1. 電気使用量削減	2016年実績	0.7%削減			
	2. 水使用量削減	2016年実績	0.5%増加			
	3. OA用紙使用量の削減	2016年実績	8.3%増加			
	4. 食品リサイクルの推進	2016年実績	54.4%			
	5. レジ袋削減活動の推進	2016年実績	35.1%			
第 2 年度						
第 3 年度						

様式第2号

(第6面)

6 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績（排出係数反映）

(1) 事業者単位

ア 第1号、第2号、第4号該当者等

(実)	9,952	t-CO ₂
(調)	9,830	

イ 第3号該当者等

(実)		t-CO ₂
(調)		

(2) 事業所等単位（第1号、第2号該当者等）

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が1,500kl以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
ダイエー川崎プロセスセンター	川崎区白石町6番1号	6900	不動産賃貸業	6,902 t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で500kl以上1,500kl未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
ダイエー向ヶ丘店	多摩区登戸2789	5811	各種食品小売業	1,917 t-CO ₂
f o o d i u m武蔵小杉店	中原区新丸子東3-1100-14	5611	百貨店・総合スーパー	1,133 t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で500kl未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400～500kl 未満	
300～400kl 未満	
200～300kl 未満	
100～200kl 未満	
100kl 未満	

(3) 事業所等単位（第4号該当者等）

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が3,000t以上（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が3,000t未満（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の数

事業所数	
------	--